

# グラフで見る東海経済 (2019年6月)

2019年6月26日

調査部 主任研究員 塚田裕昭

## 今月の景気判断 ～東海経済は横ばい圏で推移している。

項目	現状	前月
1. 景気全般	横ばい圏で推移している	—
2. 生産	横ばい圏で推移している	—
3. 輸出	横ばい圏で推移している	—
4. 輸入	横ばい圏で推移している	—
5. 設備投資	増加している	—
6. 雇用	改善している	—
7. 賃金	持ち直しの動きがみられる	—
8. 個人消費	持ち直しの動きがみられる	—
9. 住宅投資	横ばい圏で推移している	—
10. 公共投資	増加している	—

### 【今月のポイント】

- 4月の東海の生産は、輸送機械が持ち直し、2ヶ月ぶりに増加した。
- 金属工作機械受注は4月も減少。6ヶ月連続で前年比2桁減となっている。
- 東海経済は、家計部門に持ち直しの動きが見られる一方、企業部門は足踏み状態となっており、総じて横ばい圏で推移している。

(注) シャドー部分は前月と比較して見方を変更した項目  
前月のコメントが現状と同じ場合は—と表記

## 1. 景気全般 ~横ばい圏で推移している(先行き:緩やかに持ち直し)

- 3月のMURC東海景気動向指数(CI一致指数)は、前月差+0.2ptの104.5と小幅上昇した。
- 有効求人倍率、所定外給与等がマイナスに寄与したが、大型小売店販売額や金属工作機械の生産指数などがプラスに寄与した。

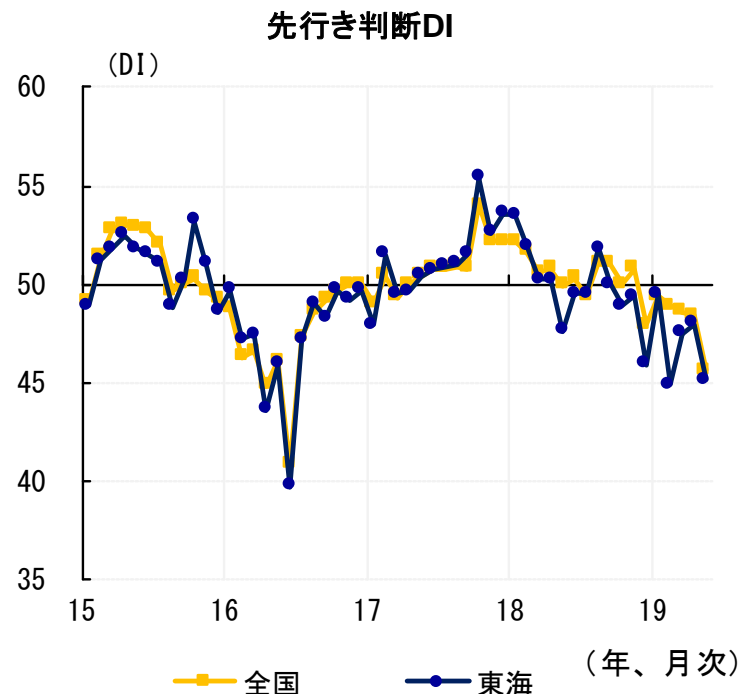
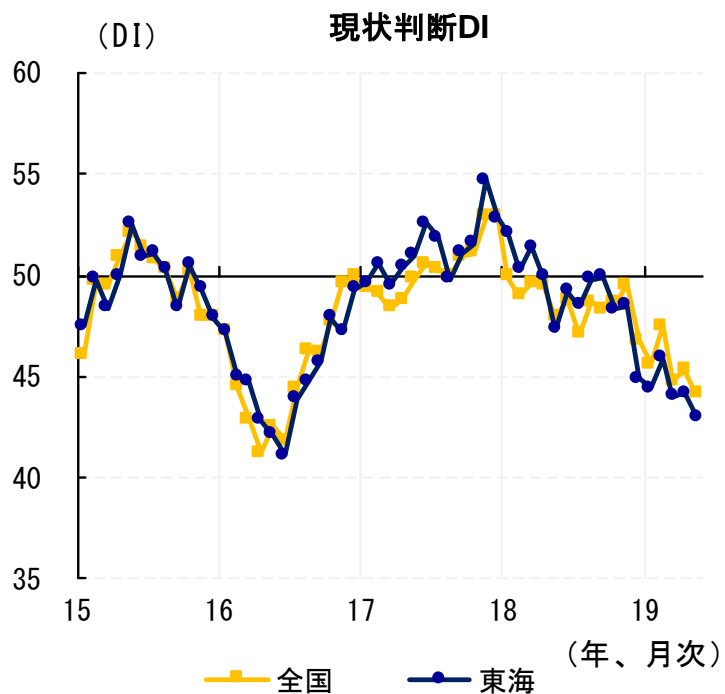


(出所)内閣府「景気動向指数」、MURC

(注)東海動向指数の採用系列は、鋳工業生産、同(金属工作機械)、有効求人倍率、人件費比率、大型小売店販売額、実質輸入、所定外労働時間の7系列。

# 1. 景気全般

- 東海の景気マインドは弱い動きが見られる。5月の東海4県の**景気ウォッチャー調査**では、足元の景況感を示す**現状判断DI**(季節調整値)は、10連休後の消費の落ち込みなどが影響し、前月差-1.2ポイントの43.0と2ヶ月ぶりに減少、横ばいを示す50を14ヶ月連続で下回った。
- **先行き判断DI**(同)は同-2.9ポイントの45.1と3ヶ月ぶりに低下、8ヶ月連続で50を下回った。節約志向の高まりや外需の不透明性などが懸念されている。



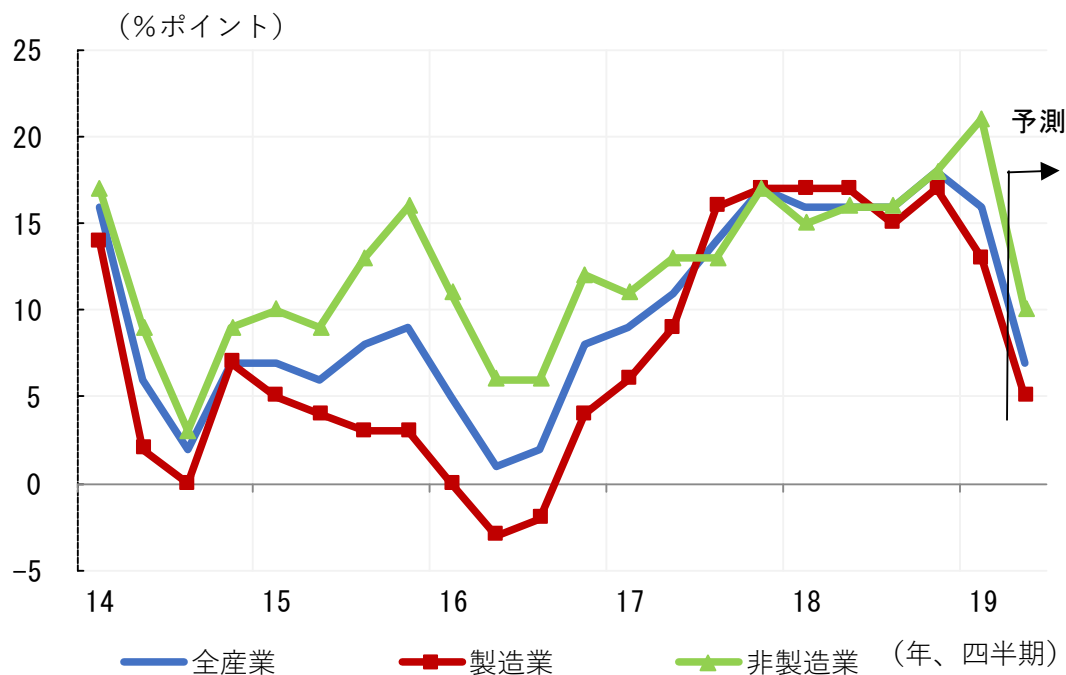
(注) DIは季節調整値  
(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

# 1. 景気全般

コメント、グラフ共に前回から変更なし

- **日銀短観3月調査**によると、東海3県の**業況判断DI**(「良い」-「悪い」)は、全産業[全規模](+16%pt)で前期から2%pt低下した。非製造業[全規模]は+21%ptと前期から3%pt上昇したが、製造業[全規模]が+13%と、4%pt低下した(はん用機械が大きく低下)。
- 先行きは、製造業-8%pt、非製造業-11%ptと、いずれも悪化が見込まれている。

業況判断DI(東海・全規模)



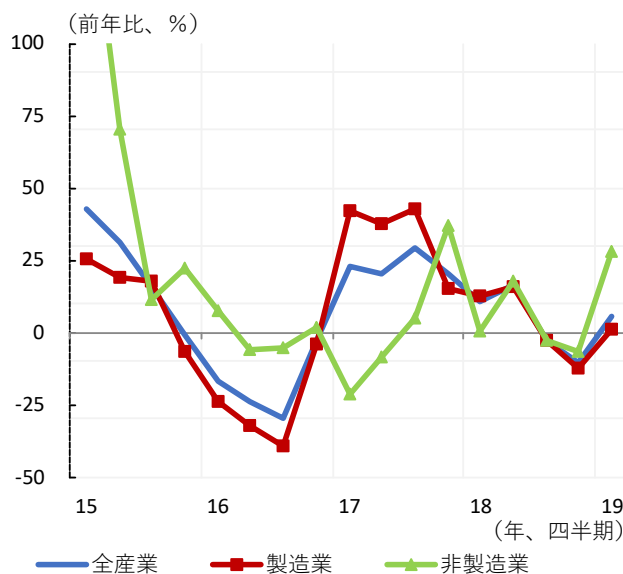
(出所) 日本銀行名古屋支店「企業短期経済観測調査」(短観)

# 1. 景気全般

- **法人企業統計調査**によると、2019年1～3月期の東海4県の大企業の経常利益(全産業)は前年比+5.7%と2四半期ぶりに増加した。内訳をみると、製造業が同+1.0%と増加し、非製造業は同+27.7%と大幅増となった。
- **日銀短観3月調査**によると、東海企業の18年度の経常利益(見込み)は全産業で前年比-3.7%と、前回12月(同-2.0%)から下方修正された。非製造業は前回の同+0.6%から同+3.5%へ上方修正されたが、製造業が同-2.8%から同-6.1%と下方修正された。19年度については、製造業(同-0.6%)、非製造業(同-1.5%)ともに減益が予想されている。

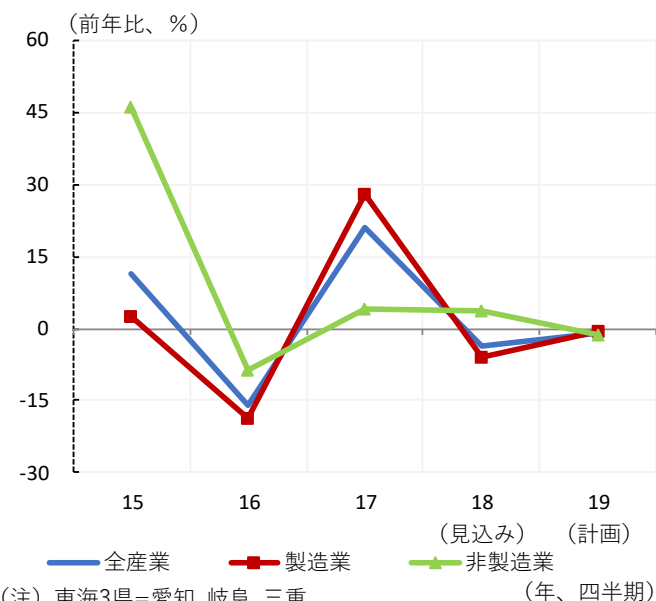
短観はコメント、グラフ共に前回から変更なし

東海の大企業の経常利益(法人企業統計)



(注) 資本金10億円以上の法人(除く金融・保険)  
(出所) 東海財務局「法人企業統計調査」

東海の企業の経常利益(日銀短観)



(注) 東海3県=愛知、岐阜、三重。  
(出所) 日銀、同名古屋支店「企業短期経済観測調査」

## 2. 生産～横ばい圏で推移している（先行き:緩やかに持ち直し）

- 東海の実績は、均して見ると、横ばい圏で推移している。
- 4月の東海3県の**鋳工業生産**は、前月比+1.2%と2ヶ月ぶりに増加した。輸送機械が持ち直し、全体を押し上げた。

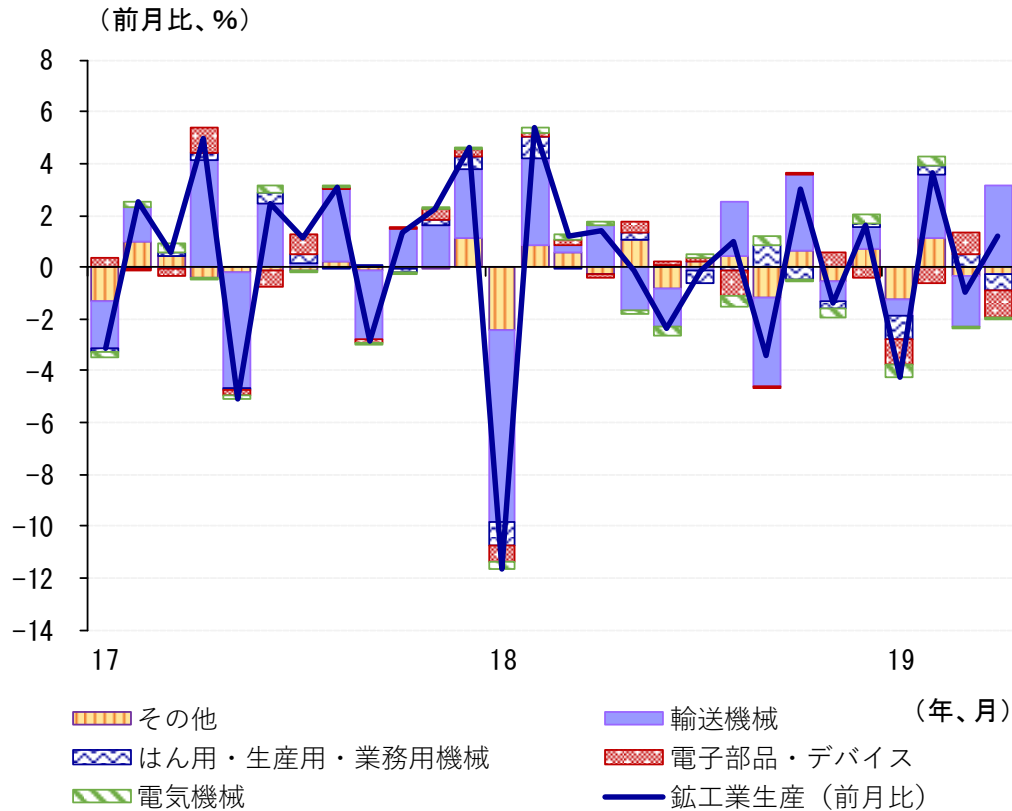
鋳工業生産指数(季節調整値)



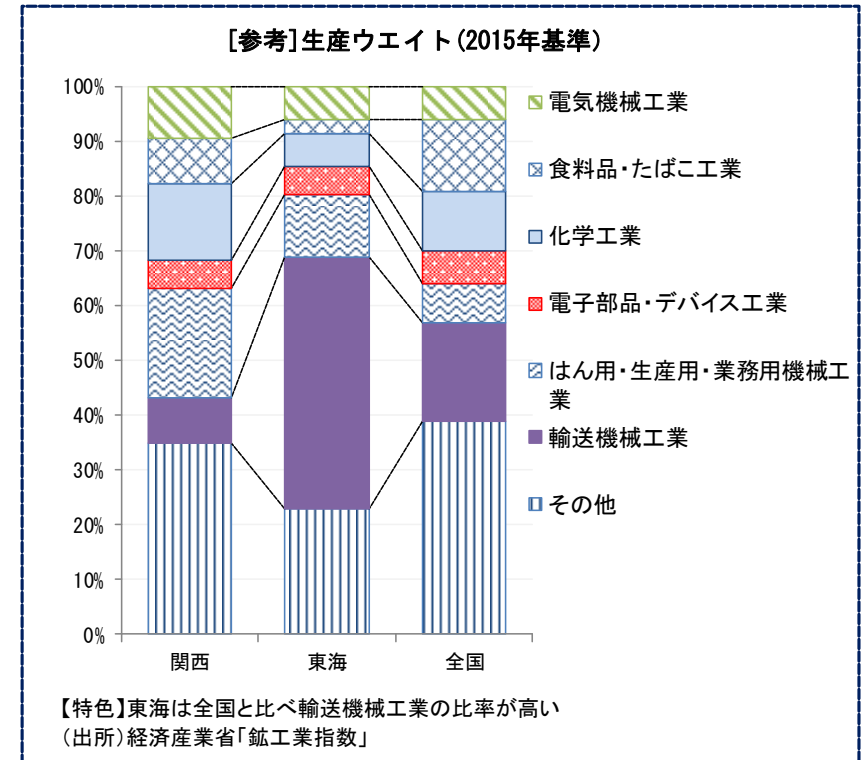
(注) 1. 生産(全国)の「△」は製造工業生産予測調査結果に基づく予測。

(出所) 中部経済産業局「鋳工業生産動向」、  
経済産業省「鋳工業指数」

## 2. 生産



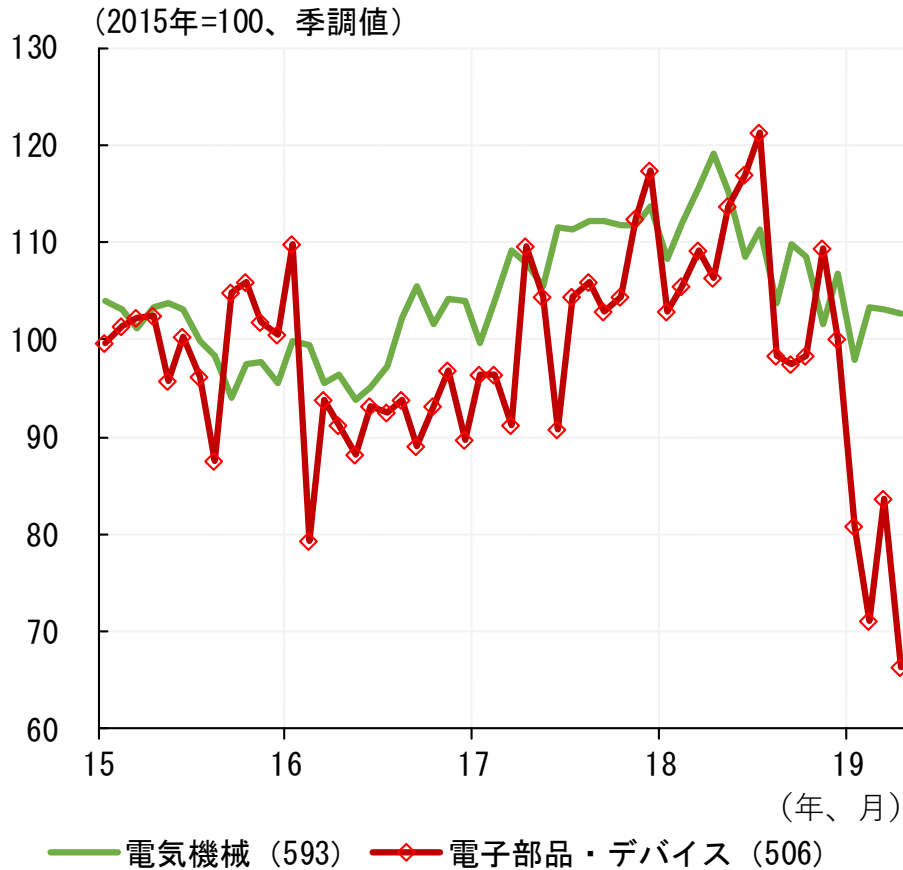
(出所) 中部経済産業局「鋳工業生産動向」



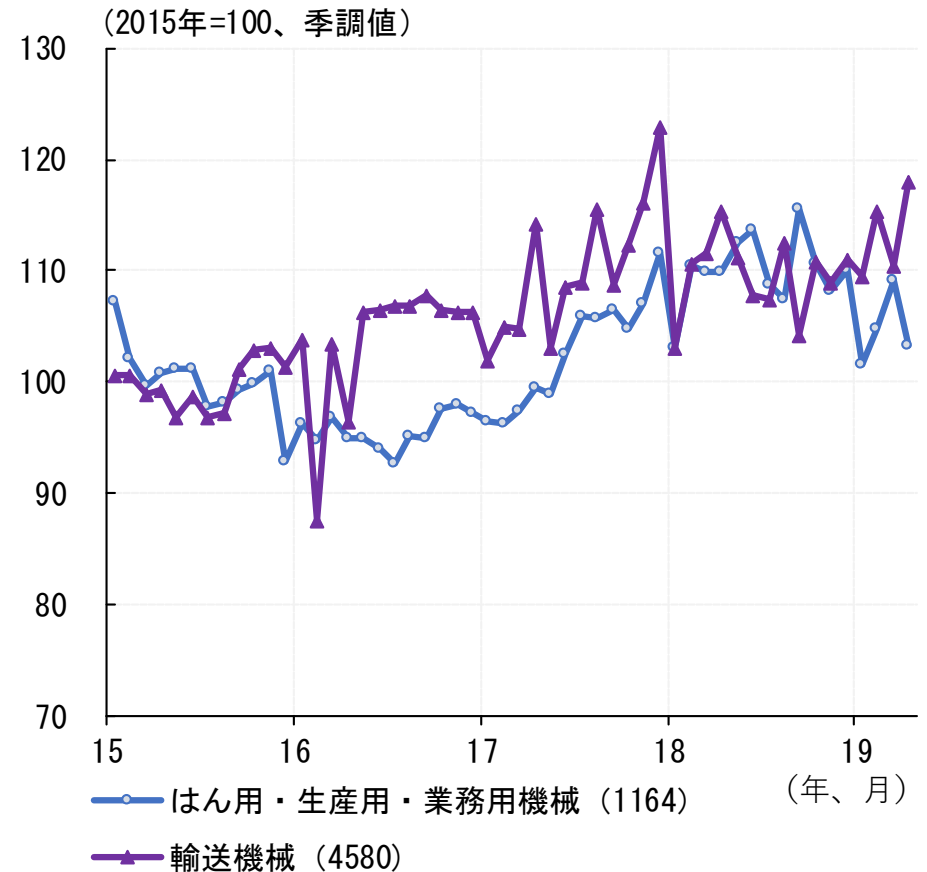


## 2. 生産

### 業種別生産



(注) 凡例の括弧内の数字は付加価値ウエイト(鉱工業=10,000)  
 (出所) 中部経済産業局「鉱工業生産動向」

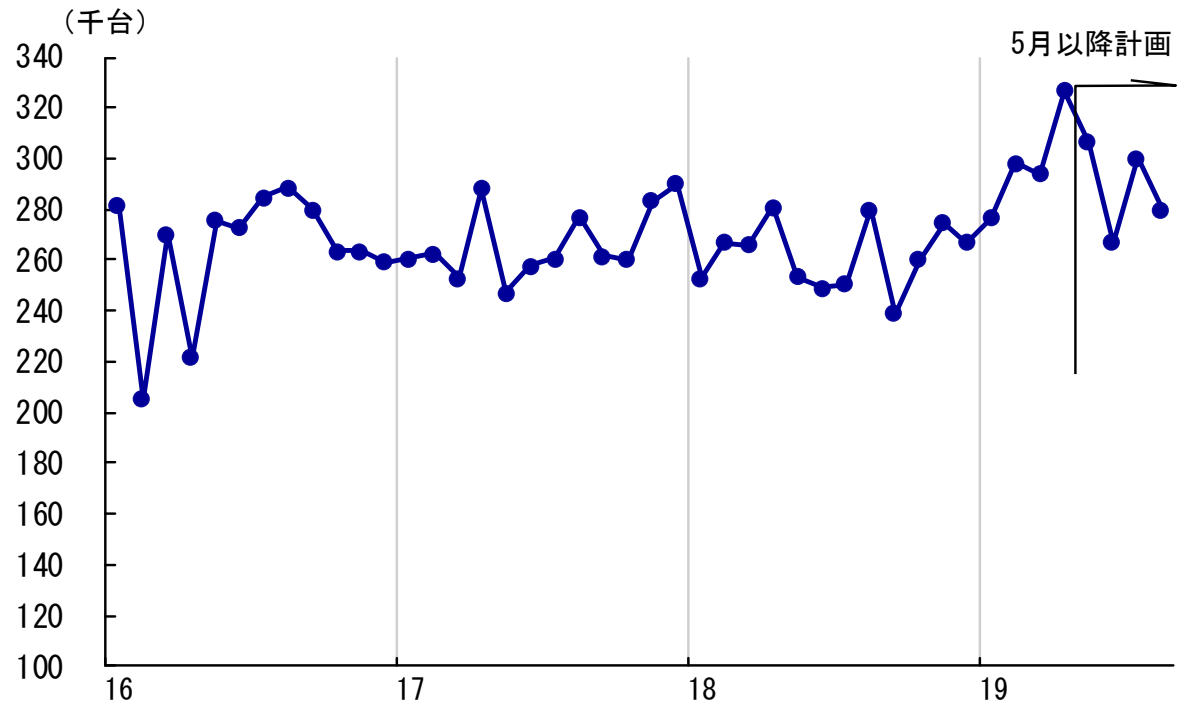


(注) 凡例の括弧内の数字は付加価値ウエイト(鉱工業=10,000)  
 (出所) 中部経済産業局「鉱工業生産動向」

## 2. 生産

- 中部経済新聞社報道のトヨタ自動車国内生産計画によると、18年5～19年8月の国内日当たり生産台数は1万4,000台程度で推移する見込みである。
- 季節調整済みの数字(MURC試算)で見ると、先行きは概ね月産27~30万台程度と、均してみても高水準横ばいの推移が見込まれる。

生産台数(季節調整値)

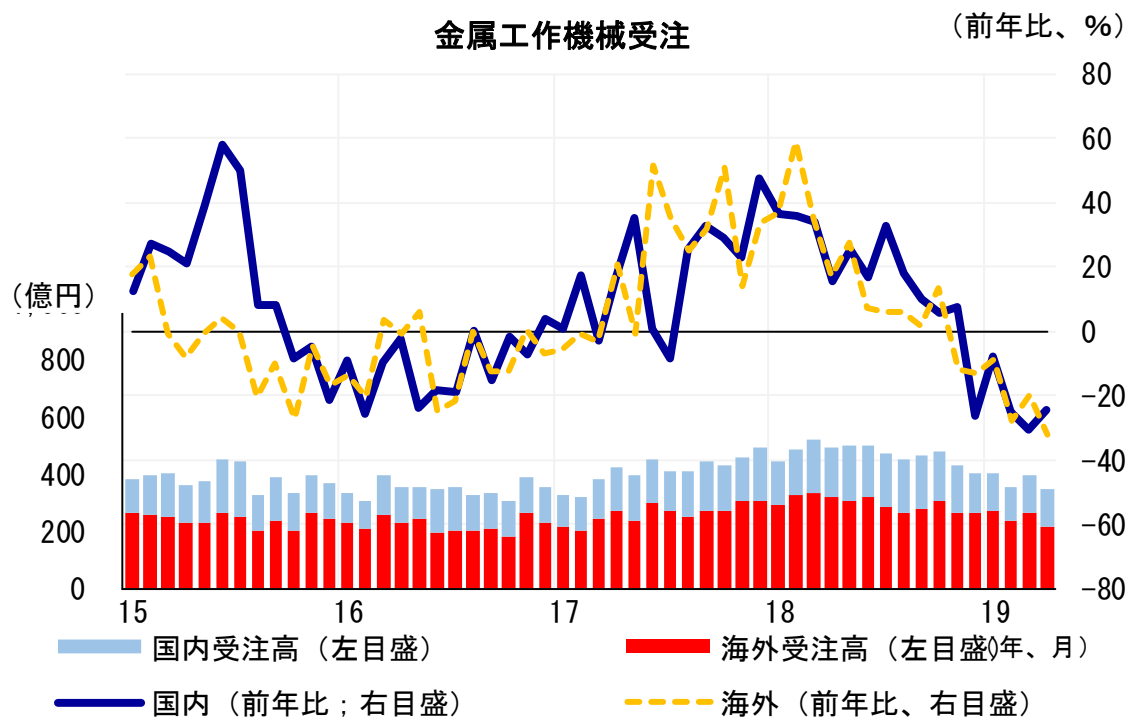


(注) トヨタ国内生産台数の季節調整値はMURC試算値。

(出所) トヨタ自動車「生産・国内販売・輸出実績」、中部経済新聞

## 2. 生産

- 4月の**金属工作機械受注**は前年比－29.5%と6ヶ月連続で減少した。国内受注(同－24.5%)、海外受注(同－32.1%)ともに減少した。
- 国内受注は一般機械向け(同－25.2%)、自動車向け(同－33.7%)などの減少が続いた。海外受注は米国向け(同－29.5%)、中国向け(同－47.1%)、ヨーロッパ向け(同－18.2%)など主要地域で2桁減が続いている。

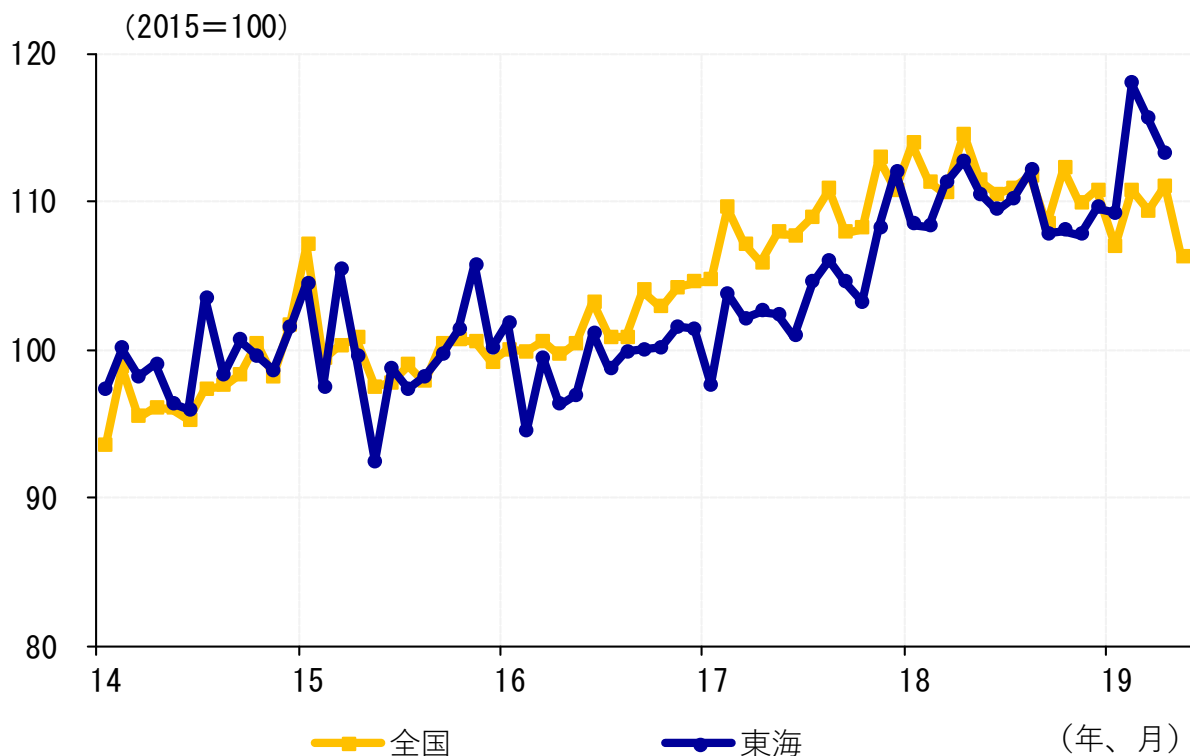


(注) 東海は、中部経済産業局管内の主要8社  
 (出所) 中部経済産業局「金属工作機械受注状況」

### 3. 輸出～横ばい圏で推移している（先行き:緩やかに持ち直し）

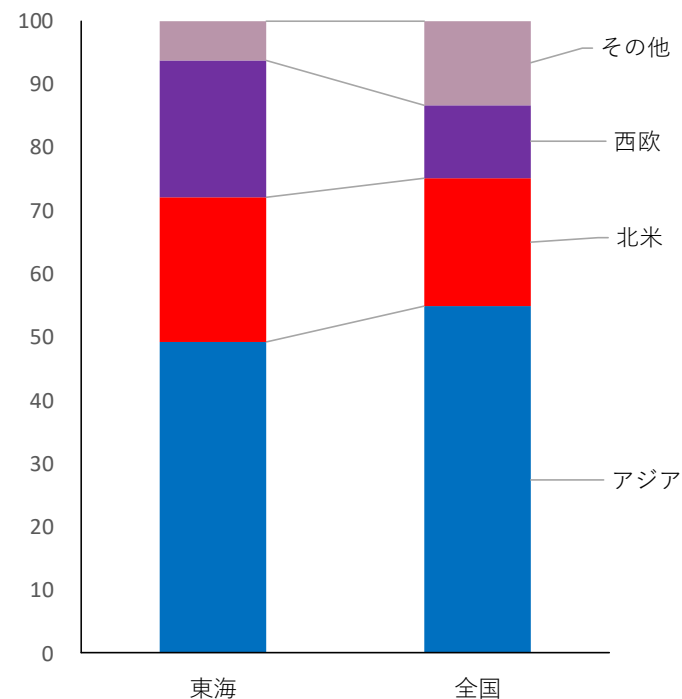
- 4月の**実質輸出**(季調済)は前月比-2.1%と、2ヶ月連続で低下した。東海の輸出は均して見ると横ばい圏で推移している。

実質輸出



(出所) 日本銀行名古屋支店「実質輸出入」

輸出額地域別シェア(2018年)



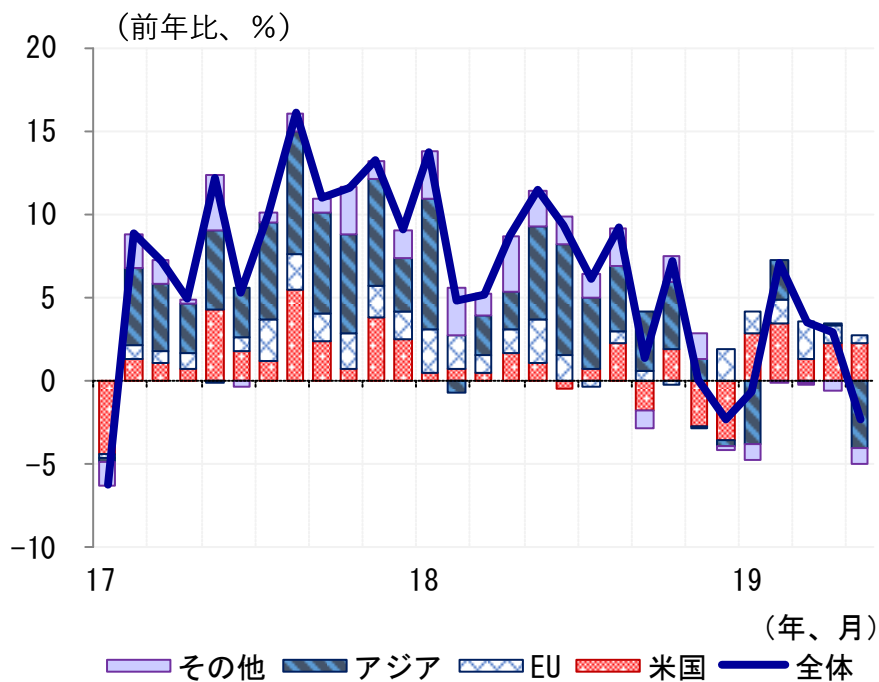
【特色】東海は全国と比べ欧米のシェアが大きい。

(出所) 財務省「貿易統計」

### 3. 輸出

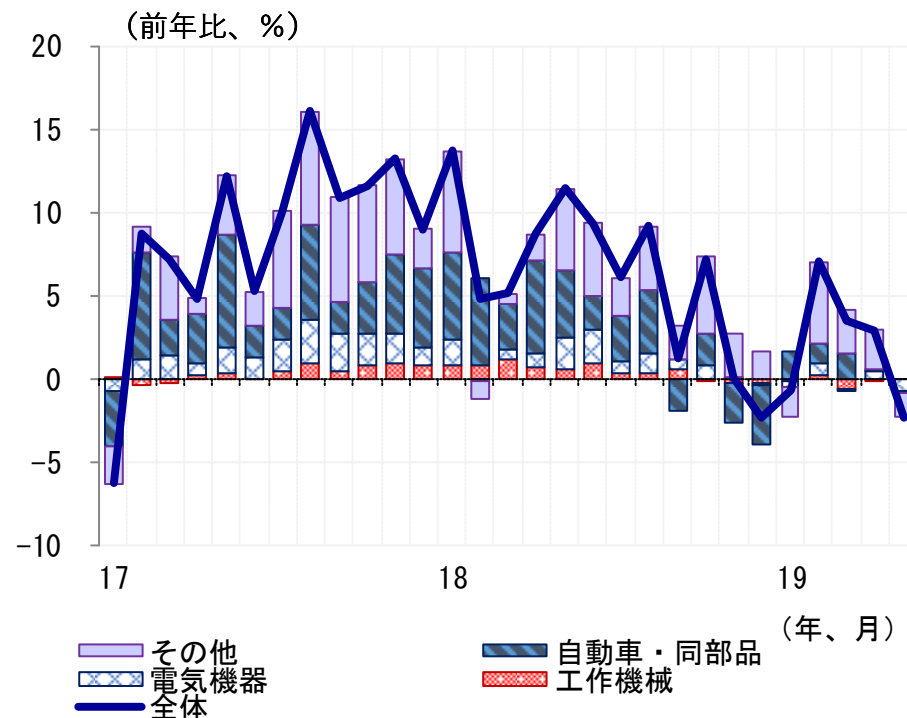
- 5月の名古屋税関管内の**名目輸出額**は前年比-2.3%と4ヶ月ぶりに減少した。地域別にみると、米国向け(同+7.7%)、EU向け(同+3.1%)が増加したが、中国(同-9.4%)などアジア向け(同-10.3%)が減少した。
- 品目別には、自動車は増加したものの、自動車部品などが減少した。

名目輸出(地域別寄与度)



(出所) 財務省「貿易統計」

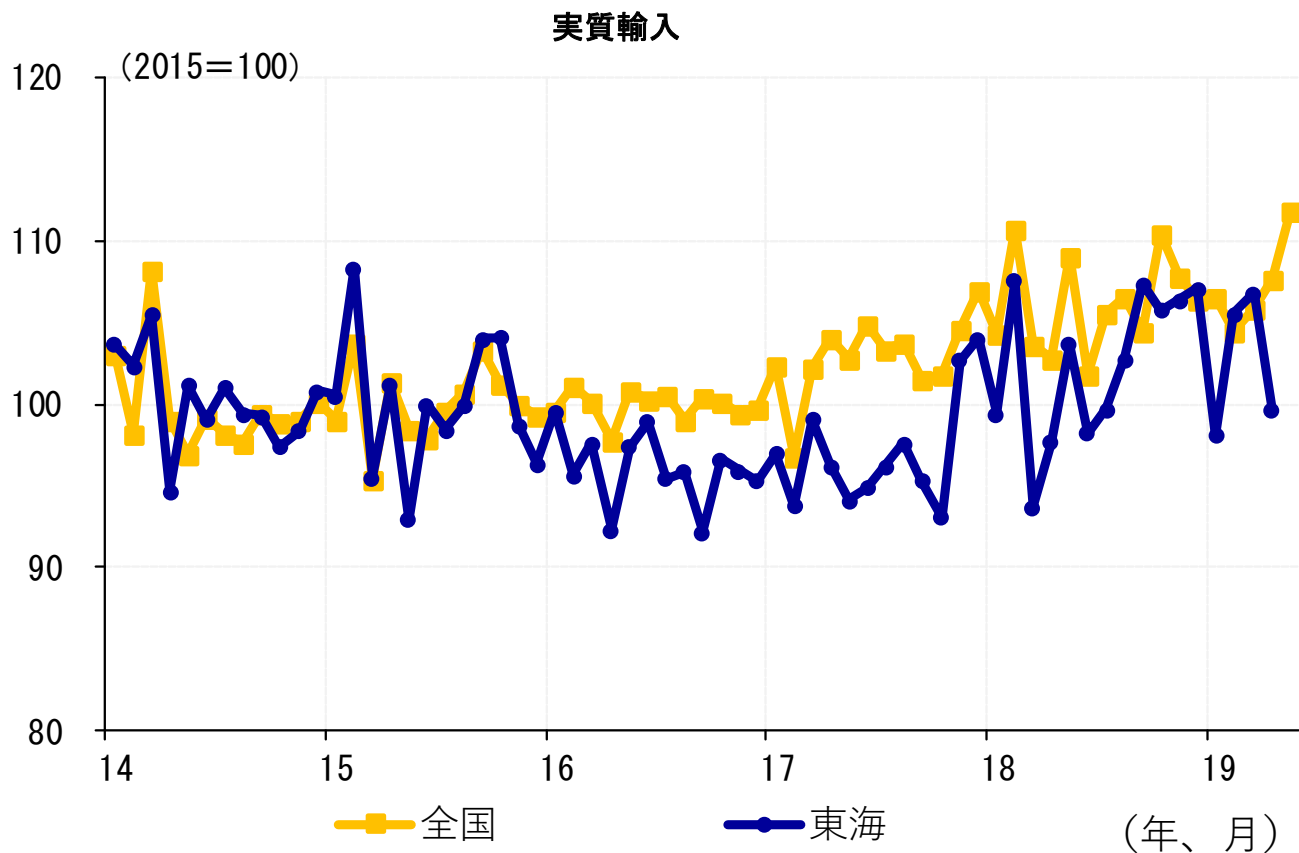
名目輸出(品目別寄与度)



(出所) 財務省「貿易統計」

#### 4. 輸入～横ばい圏で推移している（先行き:横ばい）

- 4月の実質輸入（季調済）は、前月比－6.7%と3ヶ月ぶりに減少した。東海地方の輸入は均して見ると横ばい圏で推移している。



(出所) 日本銀行名古屋支店「実質輸出入」

## 5. 設備投資 ～増加している(先行き:増加)

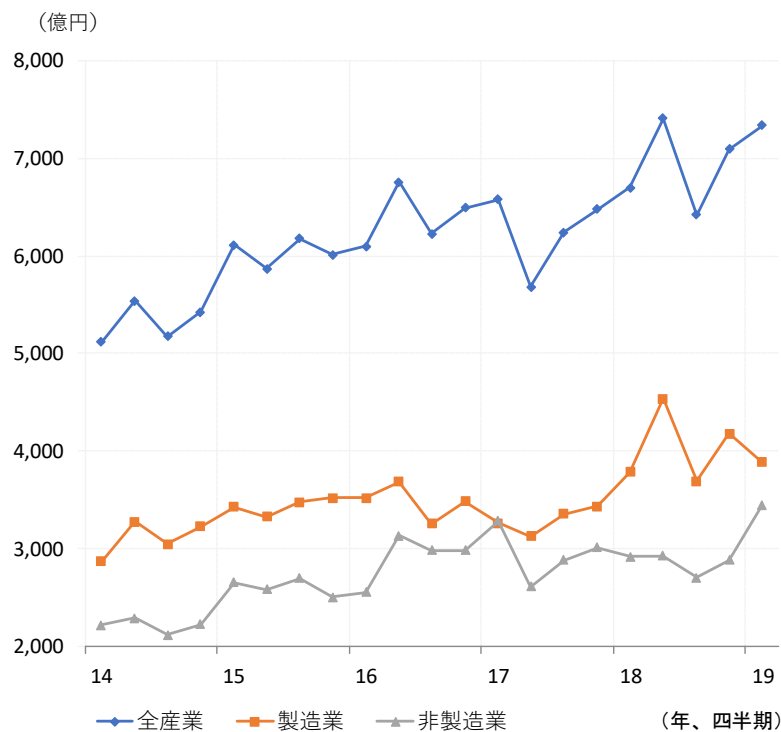
- 2019年1-3月期の東海4県の大企業の**設備投資**(ソフトウェアを含む)は、前年比+9.6%と増加が続いている。内訳をみると製造業は同+2.4%と、前期(同+22.3%)より鈍化したが、非製造業(同+18.6%)は三四半期ぶりにマイナス圏を脱し、高い伸びを見せた。
- 季節調整値(MURC試算)の動きを見ると、総じて増加基調で推移している。

### 設備投資の前年比伸び率 (全産業、%)

	東海	全国
17年10-12月	-0.6	4.3
18年1-3月	2.3	3.4
4-6月	31.0	12.8
7-9月	2.3	4.5
10-12月	9.5	5.7
19年1-3月	9.6	6.1

(出所) 財務省「法人企業統計調査」

### 設備投資(ソフトウェアを含む、季節調整値)



(注) 季調はMURC

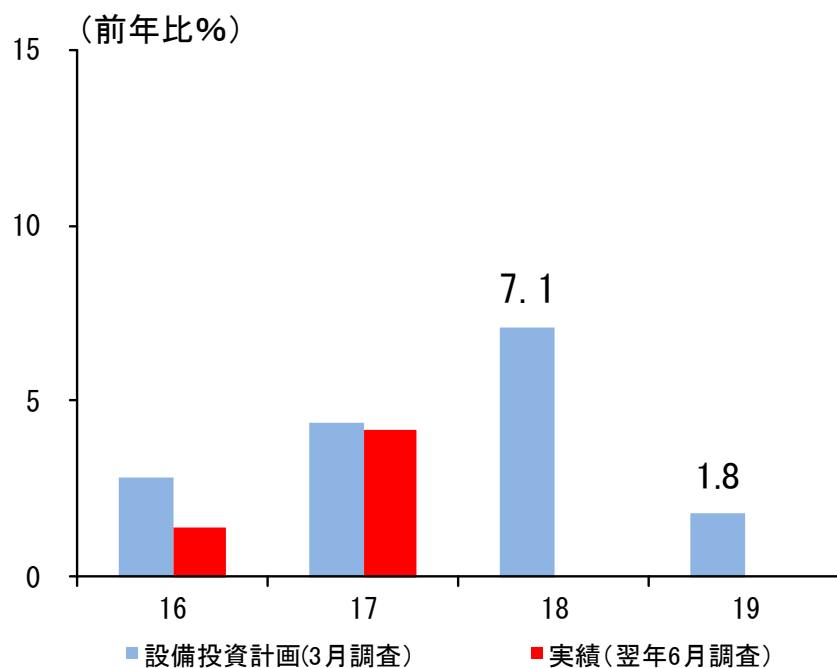
(出所) 財務省「法人企業統計調査」

## 5. 設備投資

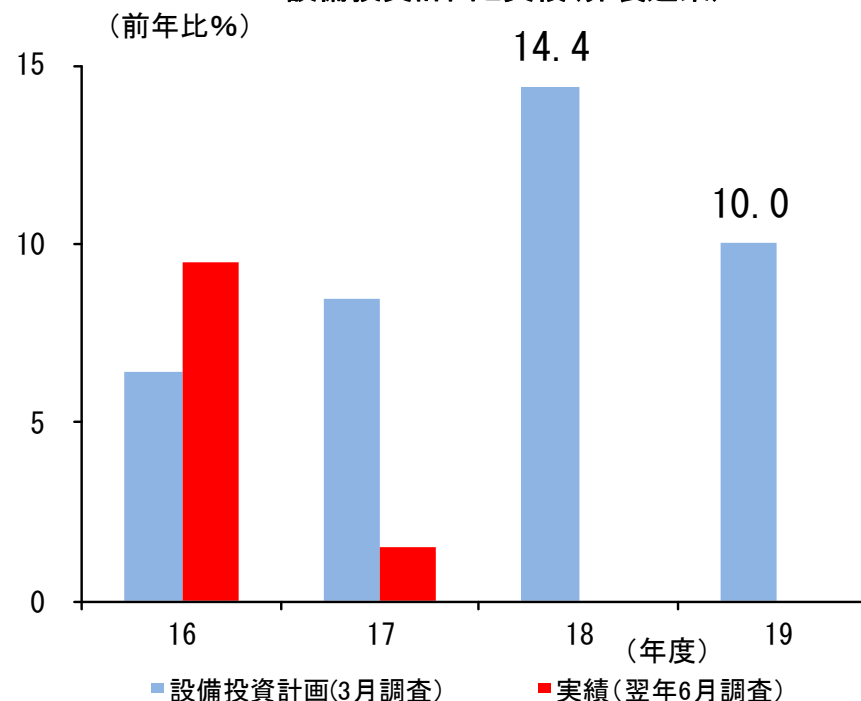
コメント、グラフ共に前回から変更なし

- **日銀短観3月調査**によると、東海3県の18年度の**設備投資**は全産業で前年比+9.1%（12月調査：同+9.8%）と、17年度実績（同+3.4%）を上回る見込みである。内訳をみると、非製造業が同+14.4%（17年度実績：同+1.5%）、製造業は同+7.1%（17年度実績：同+4.2%）と見込まれている。19年度計画は、全産業同+4.2%、製造業同+1.8%、非製造業同+10.0%となっている。

設備投資計画と実績（製造業）



設備投資計画と実績（非製造業）



（注）設備投資はソフトウェアと研究開発費を含む。土地投資額を除く。2016年度は実績値のみ。

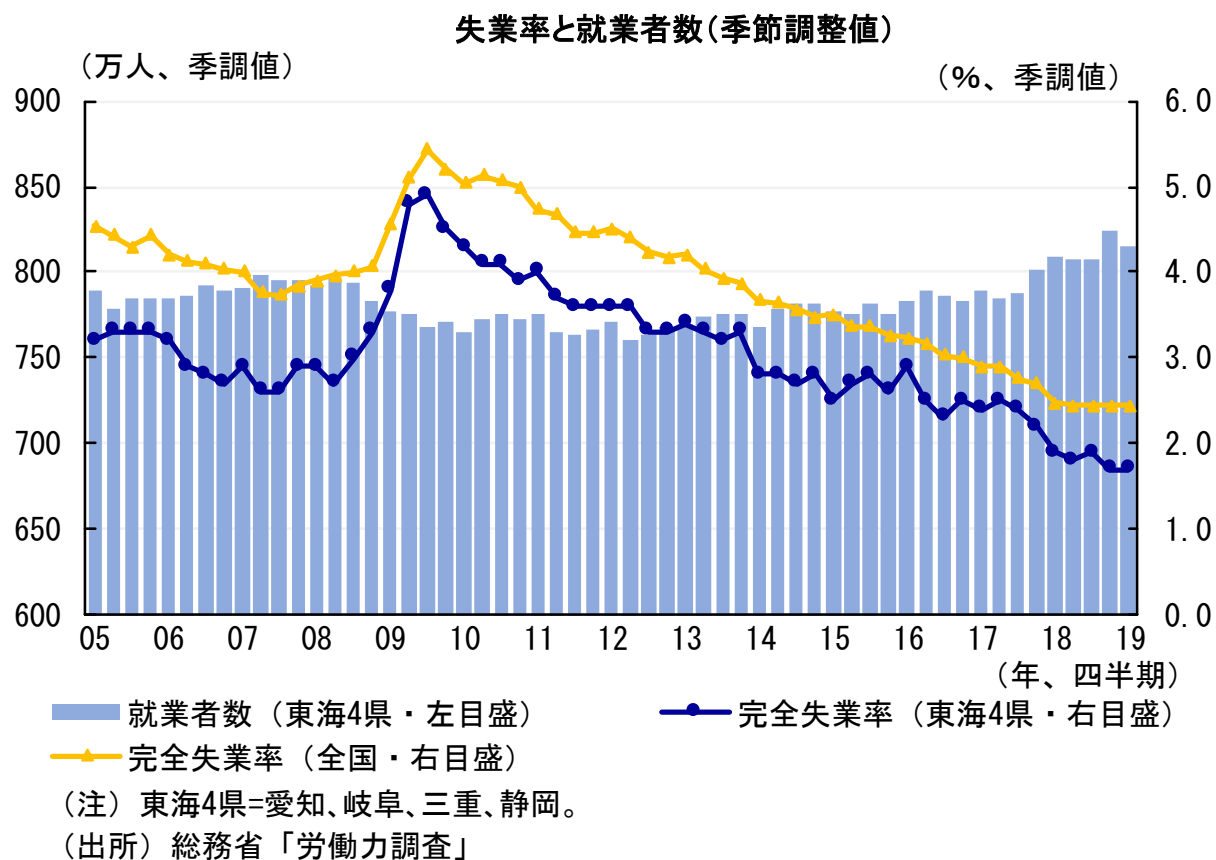
（出所）日本銀行名古屋支店「短観」



## 6. 雇用 ～改善している（先行き:改善）

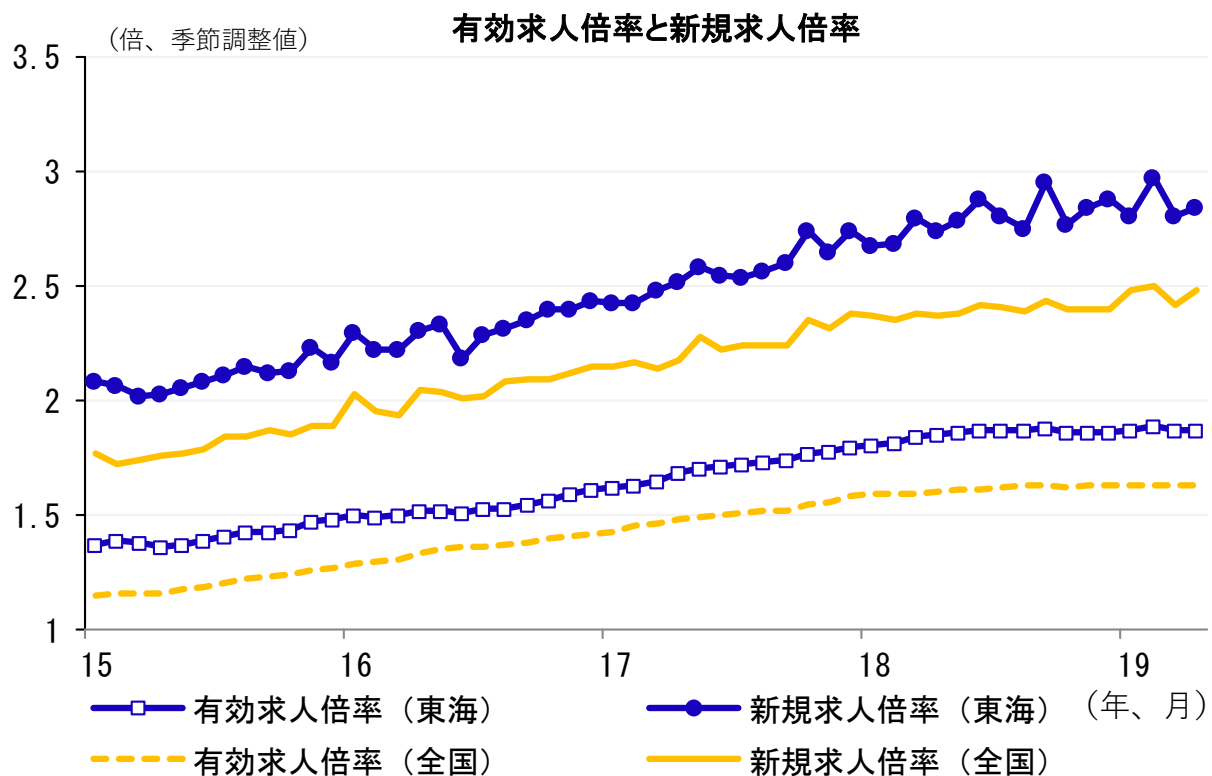
コメント、グラフ共に前回から変更なし

- 労働需給はタイトな状況が続いている。2019年1～3月期の東海4県の完全失業率は1.7%と前年同期から0.2%ポイント低下。全国(2.4%)を下回り、地域別でみて最低水準だった。
- 同時期の完全失業者は前年同期差－1万人と減少、一方、就業者数は同＋6万人と増加した。



## 6. 雇用

- 4月の東海4県の有効求人倍率(季節調整値)は1.87倍と、前月から横ばいで推移した。有効求人数、有効求職者数ともに減少した。
- 有効求人倍率に先行する新規求人倍率は、2.84倍と、前月(2.81倍)から小幅上昇した。



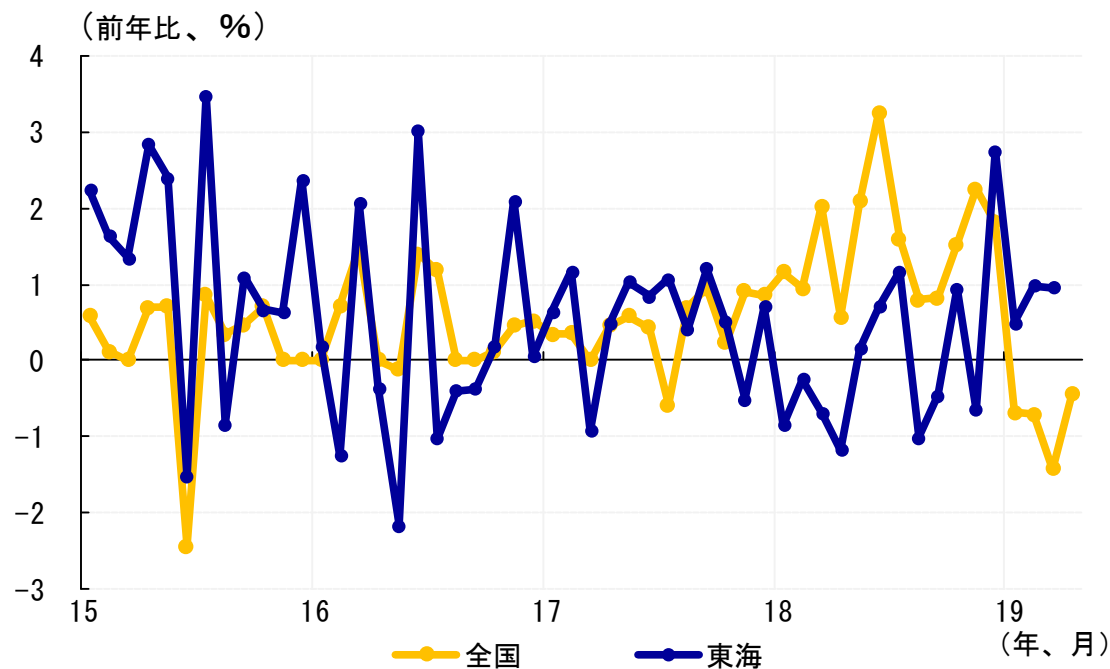
(注) 東海は岐阜、静岡、愛知、三重の4県

(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

## 7. 賃金 ～持ち直しの動きがみられる（先行き:持ち直し）

- 東海3県の3月の**名目賃金指数(現金給与総額)**は前年比+1.0%と、4ヶ月連続で増加した。県別にみると、常用労働者数の約7割を占める愛知が前年比+2.0%とプラスの伸びになったほか、岐阜も小幅増加した。

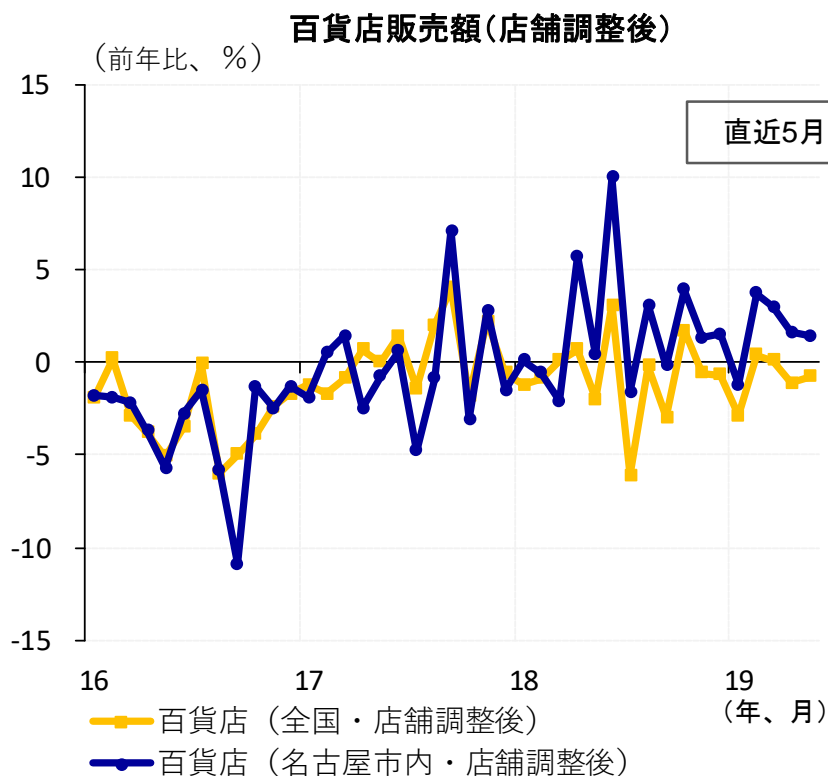
名目賃金指数(現金給与総額)



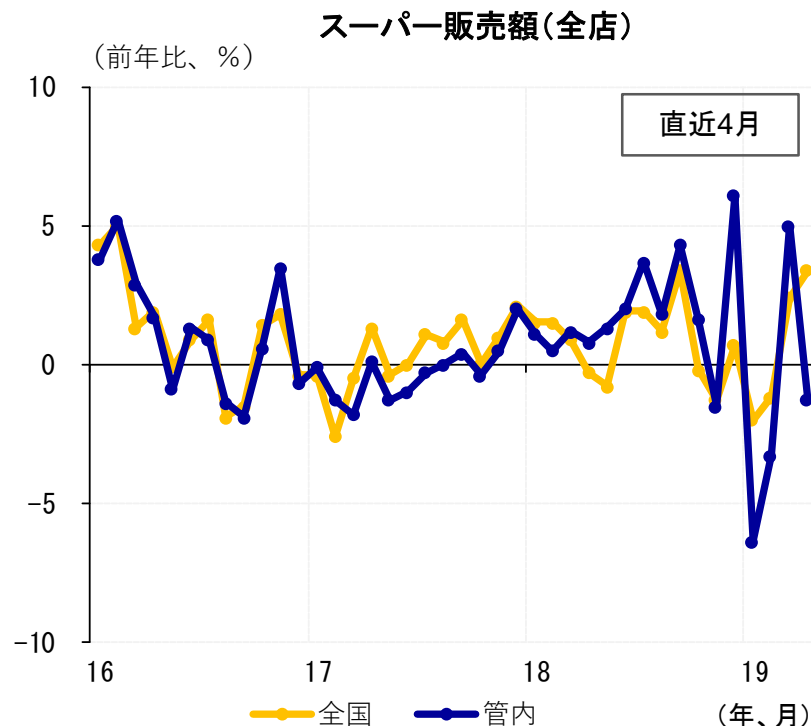
(注) 東海3県（愛知、岐阜、三重）の指数はMURC試算。常用労働者数で按分し合成。

## 8. 個人消費 ～持ち直しの動きがみられる（先行き:緩やかに持ち直し）

- 5月の名古屋市内の百貨店販売額(店舗調整後)は前年比+1.4%と4ヶ月連続で増加した。改元による連休の日数増の効果のほか、高額品や気温の上昇による夏物衣料の好調が販売増に寄与した。
- 4月の中部5県のスーパー売上高(全店)は同一1.3%と2ヶ月ぶりに減少した。衣料品の動きが鈍かった。気温が低めであった影響のほか、大型連休前に節約志向が高まった可能性がある。



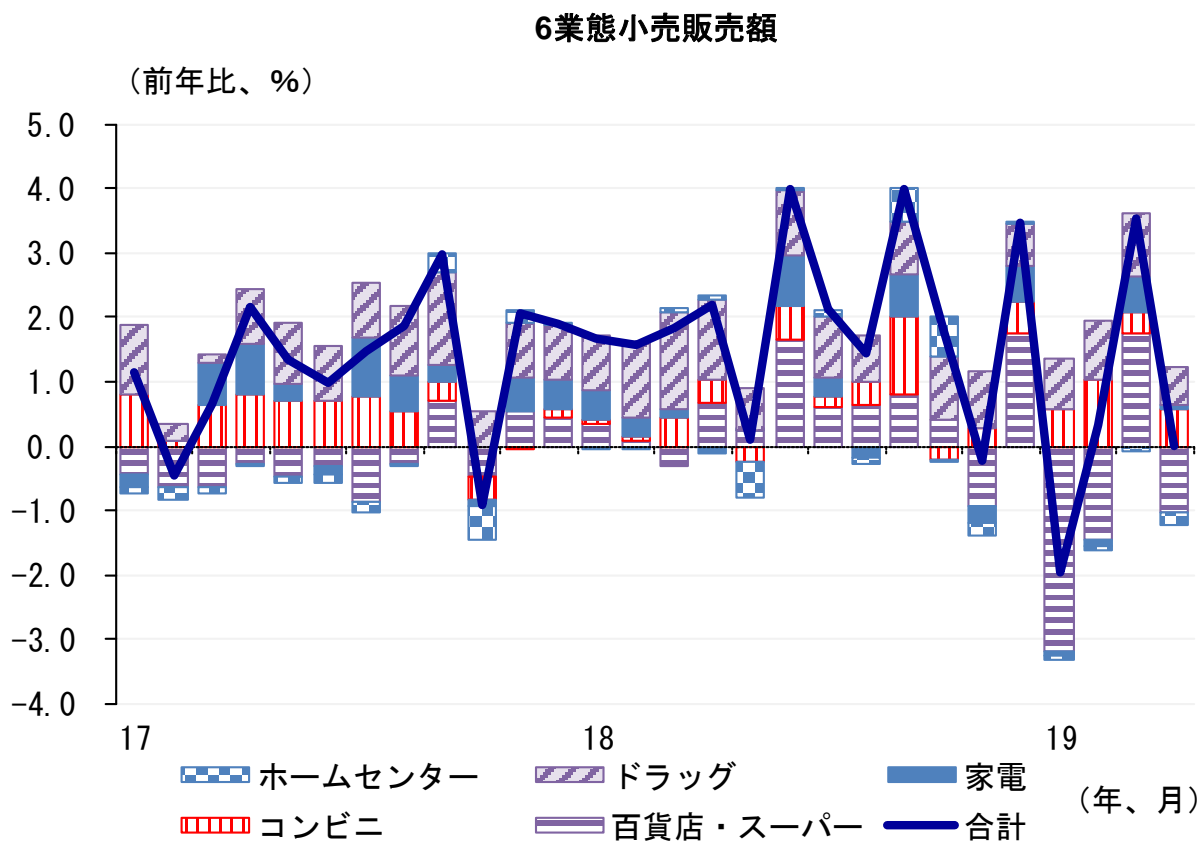
(出所) 日本百貨店協会



(出所) 中部経済産業局, 経済産業省

## 8. 個人消費

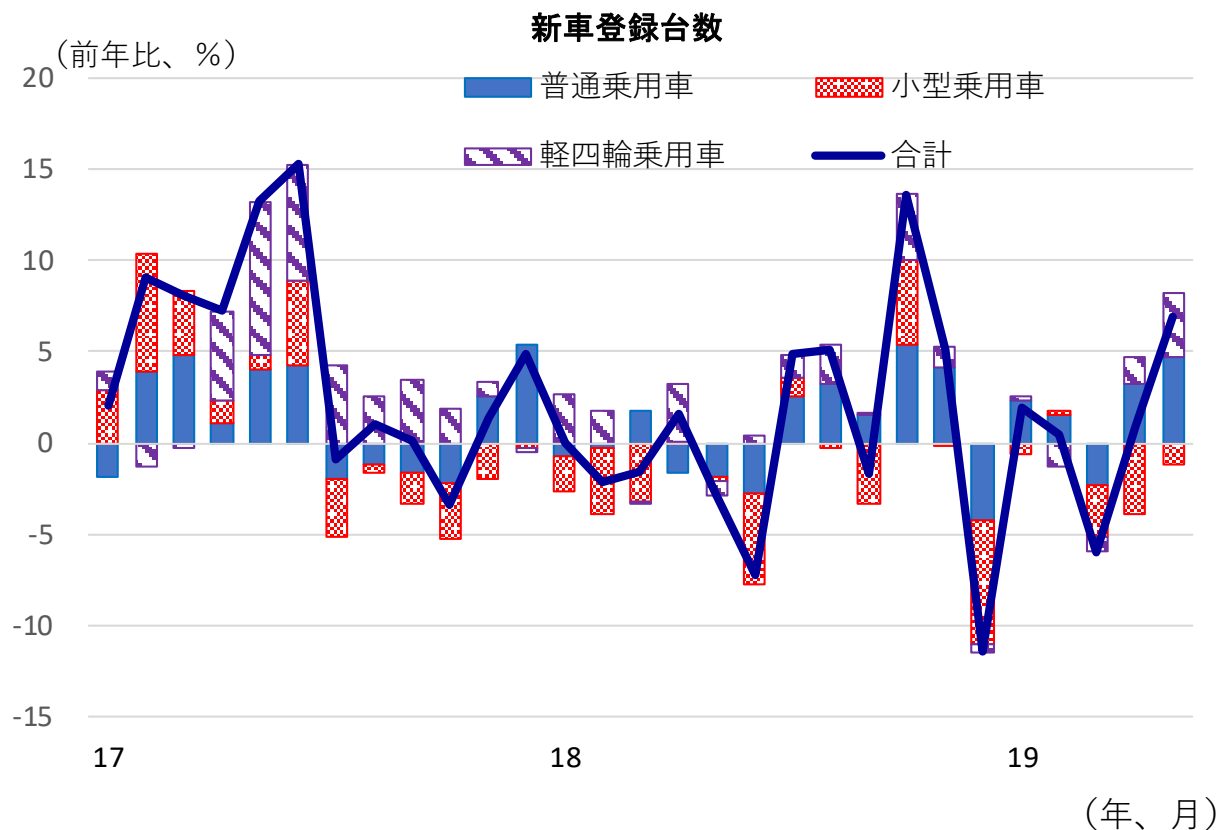
- 4月の**商業動態統計調査6業態の販売額(東海3県)**は、前年比+0.0%と前年比横ばいとなった。
- コンビニ、ドラッグストアの増加分が、百貨店・スーパーの減少で相殺された。



(出所) 経済産業省「商業動態統計調査」

## 8. 個人消費

- 5月の東海3県の新車登録台数(乗用車、含む軽)は、前年比+6.9%と2ヶ月連続で増加した。
- 内訳を見ると、小型自動車(同-4.0%)は減少が続いたものの、普通乗用車(同+12.3%)、軽四輪乗用車(同+11.1%)が増加した。

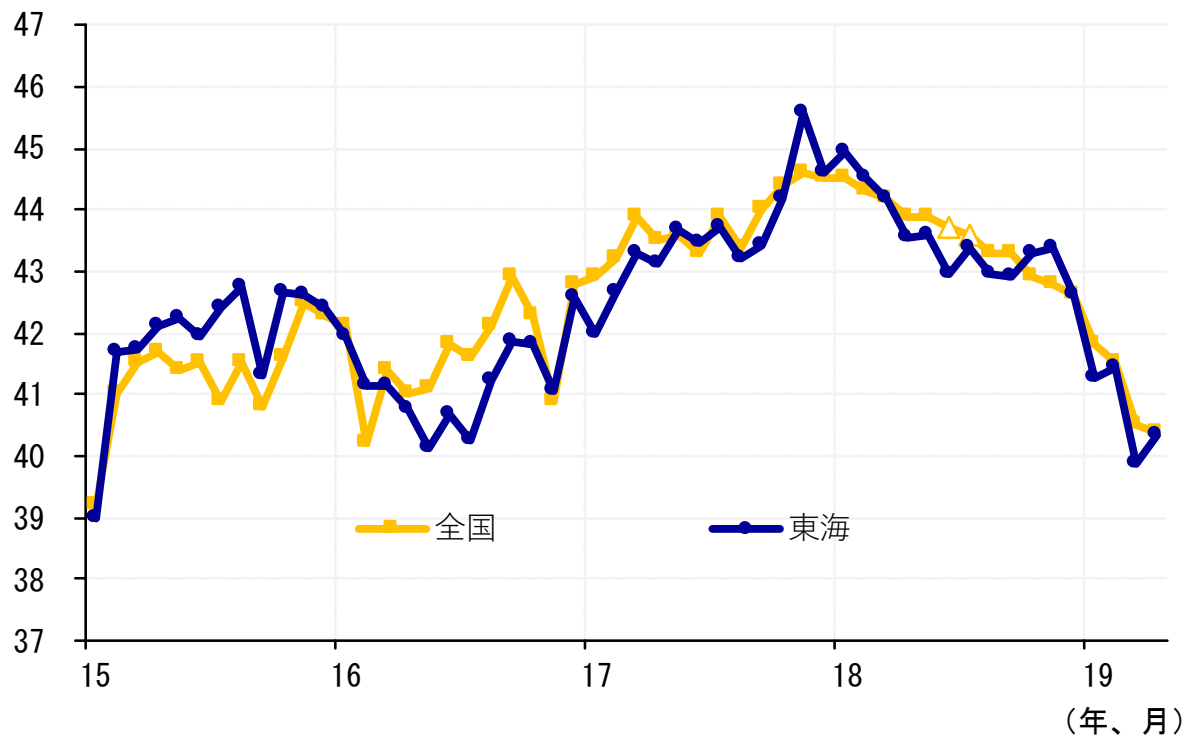


(出所) 全国軽自動車協会連合会、日本自動車販売協会連合会よりMURC作成

## 8. 個人消費

- 消費者マインドを表す消費者態度指数(季節調整値:MURC試算値)は、18年後半に横ばいで推移した後、19年に入り大きく低下、4月は前月比で増加となったが低水準で推移している。

消費者態度指数(二人以上の世帯、季節調整値)

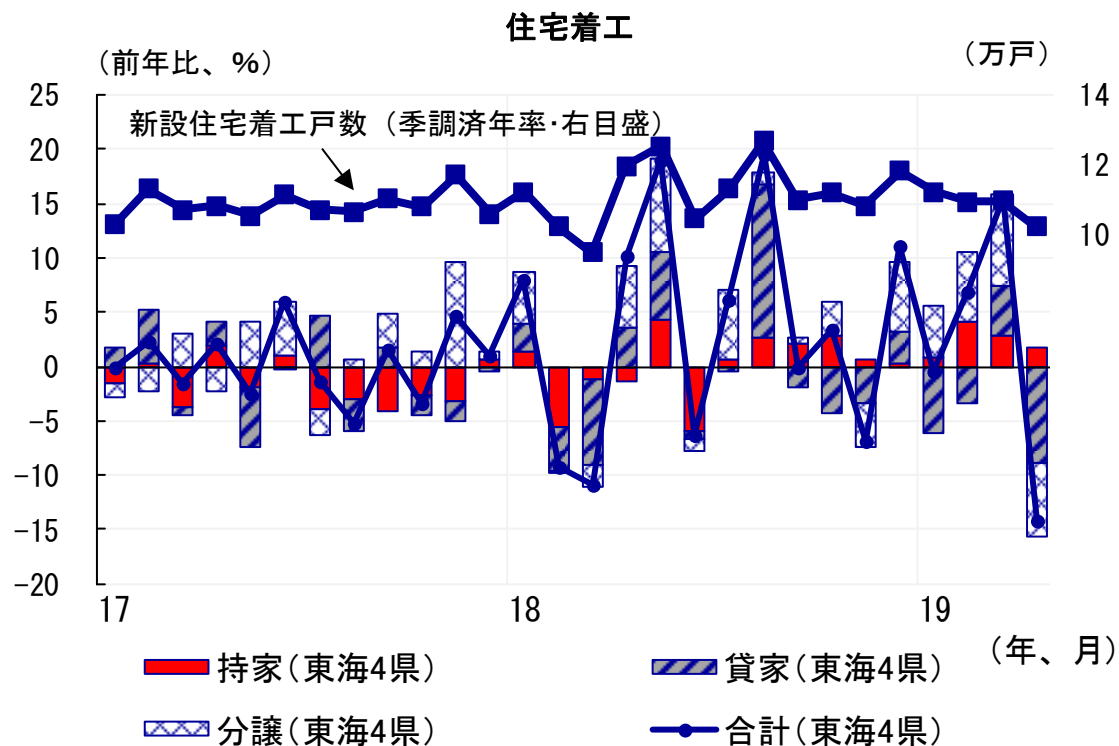


(注) 東海の季節調整値はMURC試算

(出所) 内閣府「消費動向調査」

## 9. 住宅投資～ 横ばい圏で推移している（先行き:横ばい）

- 4月の東海4県の**住宅着工戸数**は、季調済年率で(MURC試算)10.2万戸、均して見ると横ばい圏で推移している。
- 原数値では8,098戸、前年比－14.3%と3ヶ月ぶりに減少した。持家は小幅増加を維持したが、貸家、分譲が減少した。



(注) 東海4県＝愛知、岐阜、三重、静岡。季節調整は当社による。

(出所) 国土交通省「建築着工統計」



## 10. 公共投資 ～増加している（先行き：横ばい）

- 東海3県の5月の公共工事請負額は前年比▲2.5%と前年を下回ったが、年度累計では同+10.0%と、二桁台の伸びを維持した。



(注) 東海＝愛知、岐阜、三重の3県。

(出所) 保証事業会社協会、北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070 E-mail:[chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください